

さらに安くなった!

スプレッドを節約!

スプレッドの狭さがFX会社の実力!?

FXの個人投資家が最も気にしている数字がスプレッド。これは買値(ask)と売値(bid)の差を表した数字で、差が狭いほどコストが安く済むことになる。

たとえば米ドル/円を80.50円で買つたら、ポジションを決済するためには売り注文を出さなければいけない。そのときの売値が80.0円だった場合、米ドル/円を買って同時に決済すると、0.5円のコストがかかることになる。スプレッドは各通貨で異なる傾向にある。逆に取引量が少なく値動きの大きい南アランド/円は、スプレッドが比較的大きい。

最近では、スプレッドを原則としているFX会社が多い。しかし、米国の雇用統計のように相場が動く指標発表時や、取引量の少ない早朝などはスプレッドが大きくなるので、注意が必要だ。

さて、スプレッドは狭ければ狭いほどいいのか? 下記の通貨別の表では、SBI FXトレードが圧倒的なスプレッドの狭さを誇っているが、これは1万通貨までの取引。米ドル/円の場合、それ以上は0.29銭かかる。

取引量によりスプレッドが変わる会社もあるので、短期売買か中長期投資かなど、投資スタイルを考えて選ぶべし。

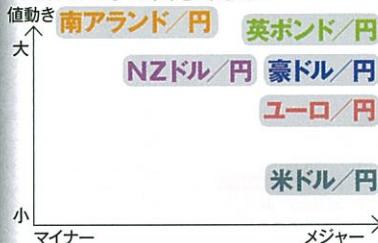
キャッチアップ

3ヶタ表示会社が増えている理由とは?

FX会社の最近のトレンドとなっているのが、小数点以下3ヶタまでのレート表示。これはFX会社間のコスト引き下げ競争がますます激しくなっているためだ。今までのレート表示は小数点以下2ヶタの会社が多くたが、これだと2つの会社が米ドル/円を売値80.91円、買値80.93円と同じ価格で表示をしていた場合、両方の会社にスプレッドの差はない。

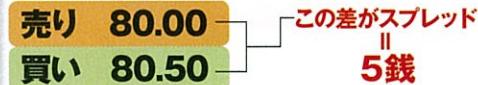
そこで、レートを小数点以下3ヶタまで表示することによって他社と差をつけられれば、スプレッドの低さを投資家にアピールすることができる。投資家にはうれしい限りだが、このままで4ヶタ化も……!?

値動きが大きくてマイナー通貨ほどスプレッドは大きくなる!



すぐにわかるスプレッドの仕組み

A社 米ドル/円



コストが抑えられる!

取引コストを抑えてくれる低スプレッドFX会社・通貨別BEST5

●米ドル/円の低スプレッドBEST5

1 SBI FXトレード	0.12銭
2 FXブロードネット GMOクリック証券 トレイダーズ証券	0.3銭
3 岡三オンライン証券、 サイバーエンジニアントFX	0.4銭

●ユーロ/円の低スプレッドBEST5

1 SBI FXトレード	0.59銭
2 GMOクリック証券、 トレイダーズ証券	0.7銭
3 FXブロードネット	0.8銭

アルパリ、岡三オンライン証券、カブドットコム証券、トレイダーズ証券、マネーパートナーズ 0.9銭

●豪ドル/円の低スプレッドBEST5

1 SBI FXトレード	0.85銭
2 GMOクリック証券	1.0銭
3 岡三オンライン証券、 サイバーエージェントFX	1.2銭

FXプライム、アルパリ*
カブドットコム証券 1.4銭

●英ポンド/円の低スプレッドBEST5

1 SBI FXトレード	0.99銭
2 GMOクリック証券	1.2銭
3 岡三オンライン証券	1.4銭
トレイダーズ証券	1.6銭

アルパリ* 1.7銭

●NZドル/円の低スプレッドBEST5

1 SBI FXトレード	1.49銭
2 アルパリ*	1.5銭
3 岡三オンライン証券	1.7銭

GMOクリック証券 1.8銭
サイバーエージェントFX 2.0銭

●南アランド/円のスプレッドBEST5

1 SBI FXトレード	0.99銭
2 岡三オンライン証券	1.7銭
3 サイバーエージェントFX GMOクリック証券 マネーパートナーズ	1.9銭

*プロロードで11月12日～16日の実績値。提示率95%以上。
最低スプレッドを表示。

※2012年11月15日現在。

KEYWORD スプレッドって何?

取引手数料とは別に、FXの取引時にかかるコストのこと。買値(ask)と売値(bid、またはoffer)の価格差のことをいい、これが狭いほど売買がしやすくなる。スプレッドの狭さをうりに、FX取引会社の中で競争が激化しており、レートの小数点以下を3ヶタで表示している会社が多くなっている。